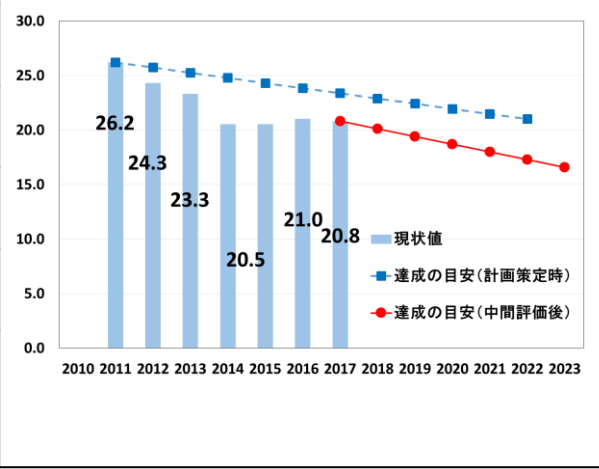


領域	3 こころの健康	評価	A
分野	(1)こころの健康づくり		
目標項目	①自殺者の減少		
指標	自殺死亡率(人口10万対)		
データソース	厚生労働省「人口動態統計」		
分析・評価	現状値が基準値の26.2から5.4ポイント減少の20.8であり、目標値の21.0以下に達している。		

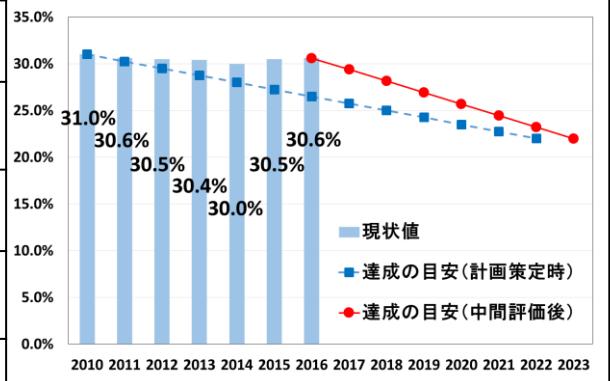


指標の見直しの検討
 目標値に達しており、より高い目標設定が適当である。
 新目標値は、2018年(平成30年)3月に策定された「いのち支える青森県自殺対策計画」に準じて16.6とする。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			26.2	24.3	23.3	20.5	20.5	21.0	20.8					
標本数			-	-	-	-	-	-	-						
達成の目安(計画策定時)			26.2	25.7	25.3	24.8	24.3	23.8	23.4	22.9	22.4	21.9	21.5	21.0	
達成の目安(中間評価後)									20.8	20.1	19.4	18.7	18.0	17.3	16.6

旧目標値 21.0
 ↓
 新目標値 16.6

領域	3 こころの健康	評価	C
分野	(2) 休養(睡眠)		
目標項目	①睡眠による休養が十分にとれていない者の割合の減少		
指標	睡眠で休養が十分にとれていない者の割合		
データソース	市町村国民健康保険健康診査データ(40～74歳)		
分析・評価	現状値が基準値の31.0%から0.4ポイント減少の30.6%であり、目標値の22.0%に達しておらず横ばい傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の22.0%を維持する。
-----------	-----------------

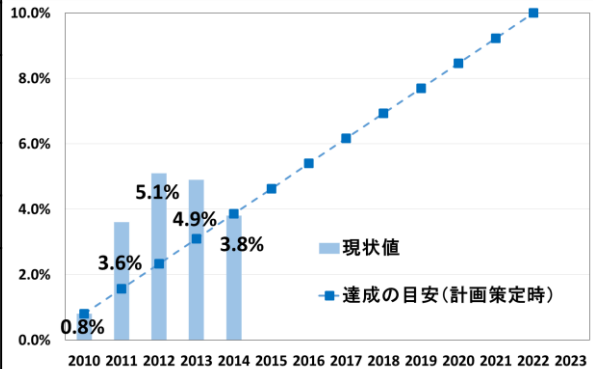
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		31.0%	30.6%	30.5%	30.4%	30.0%	30.5%	30.6%						
標本数		79,663人中 24,707人中	83,027人中 25,433人中	83,611人中 25,490人中	86,346人中 26,282人中	89,468人中 26,874人中	89,473人中 27,266人中	87,460人中 26,791人中	目標値維持						
達成の目安(計画策定時)		31.0%	30.3%	29.5%	28.8%	28.0%	27.3%	26.5%	25.8%	25.0%	24.3%	23.5%	22.8%	22.0%	
達成の目安(中間評価後)								30.6%	29.4%	28.1%	26.9%	25.7%	24.5%	23.2%	22.0%

<参考>

県内医療保険者(市町村国保以外)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016(H28)
40～74歳 男女総計の睡眠で休養が十分にとれていない者の割合	39.3% (88,077人中34,590人)

領域	3 こころの健康	評価	E
分野	(3) 認知症		
目標項目	① 認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上		
指標	認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率		
データソース	厚生労働省「介護予防事業報告」		
分析・評価	現状値が基準値の0.8%から3.0ポイント増加の3.8%であり、目標値の10.0%に達していないもの改善傾向である。しかしながら、2015(H27)年度の介護保険制度の改正以降、指標の把握が不可能であり評価困難である。		



指標の見直しの検討

指標の把握が不可能であり評価困難であるため、新しい指標の設定が適当である。健康日本21(第二次)の中間評価では、H27年度の介護保険制度改正により、現在、基本チェックリストを使用した介護予防事業は実施していないため、「認知症機能低下ハイリスク高齢者の把握率」の把握が困難となっていることから、新オレンジプラン(認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～)において数値目標として掲げられている「認知症サポーター数」を新たな指標とした。これを受けて、「認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率」の指標は廃止し、新指標は、2018年(平成30年)3月に策定された「あおり高齢者すこやか自立プラン2018」で達成目標として定められた「認知症サポーター(注22)及びキャラバン・メイト(注23)数」とする。

目標値は「あおり高齢者すこやか自立プラン2018」に準じて120,000人とし、目標年次も同プランの期間に合わせて2020年度とする。

データ	年度	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値	0.8%	3.6%	5.1%	4.9%	3.8%									
標本数	-	-	-	-	-										
達成の目安(計画策定時)	0.8%	1.6%	2.3%	3.1%	3.9%	4.6%	5.4%	6.2%	6.9%	7.7%	8.5%	9.2%	10.0%		

○新目標項目 認知症サポーター及びキャラバン・メイト数の増加

○新指標 認知症サポーター及びキャラバン・メイト数

○新目標値 120,000人

<参考>

認知症サポーター数及びキャラバン・メイト数 (出典:あおり高齢者すこやか自立プラン2018)

2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020
83,837人	95,891人	107,945人	120,000人

達成の目安



(注22) 「認知症サポーター」は、自治体事務局等が行う「認知症サポーター養成講座」を受けた人のことである。

(注23) 「キャラバン・メイト」は、自治体事務局等と「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務めていただく人のことである。キャラバン・メイトになるためには所定のキャラバン・メイト養成研修を受講し登録する必要がある。